



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月28日

上場会社名 株式会社森精機製作所

上場取引所 東大

コード番号 6141 URL <http://www.moriseiki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 雅彦

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長経理財務本部長 (氏名) 近藤 達生

TEL 052-587-1811(代表)

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	28,834	51.5	△1,318	—	△1,290	—	△1,267	—
23年3月期第1四半期	19,026	38.5	△4,777	—	△5,644	—	△5,510	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △1,079百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △7,245百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△11.46	—
23年3月期第1四半期	△49.83	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	179,784	91,413	50.0
23年3月期	171,949	95,328	54.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 89,976百万円 23年3月期 93,855百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	69,000	48.1	3,000	—	2,500	—	2,500	—	22.69
通期	145,000	20.4	8,000	—	7,000	—	7,000	435.3	63.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	118,475,312 株	23年3月期	118,475,312 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	8,783,446 株	23年3月期	7,893,507 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	110,581,789 株	23年3月期1Q	110,582,363 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

記載している予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成23年7月29日(金)に当社ホームページに掲載を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から6月30日）の工作機械業界における受注環境は、日本工作機械工業会が発表した平成23年1月から6月の工作機械受注額が前年同期比53%増となるなど、受注環境は回復基調が続いております。当社グループの受注活動においても、引き続きアジア、欧米を中心とした堅調な外需の伸びを背景に、今後も受注拡大が十分期待できるものと考えております。

このような経営環境下において当社グループでは、4月より第三次中期経営計画「GQ-C-SI123」（Global Quality for Customers with Speed and Innovation 123）がスタートし、世界中のお客様にスピーディかつ一桁違う品質で製品・サービスを提供することをビジョンに掲げ、強靱な営業・製造・開発の実現を目指してまいります。最終年度の平成25年度には、営業利益率10%以上の達成、平成22年度比で効率20%以上の改善及び市場シェア30%以上の拡大を目標としております。

営業活動では、4月に北京で「CIMT2011」に出展するとともに、5月にシカゴで「Innovation Days 2011」を開催し、期待を上回る受注を獲得することができました。また6月には独国GILDEMEISTER AG（以下、ギルデマイスター社）製の5軸制御マシンニングセンタ「DMU 60 eVo」と「LASERTEC 210 Shape」の受注を相次いで開始しました。今後も同社との強固な協調体制のもと、豊富な製品をラインアップし、より多くのお客様の生産現場を支えてまいります。

生産面では、伊賀事業所で新加工工場の建設を進めております。これにより国内生産の整流化を図り、平成24年1月以降の生産効率の向上に取り組んでまいります。また、米国カリフォルニア州デービス市に建設する北米工場の鉄入れ式を6月に行い、平成24年7月の操業開始に向けて順調に進んでおります。この他ギルデマイスター社、中国瀋陽机床（集団）有限責任会社との合弁事業会社の設立に向けた交渉を4月に開始しており、多様なリスク分散とグローバル競争を見据えた日本、北米、欧州、中国の4極生産体制を確立してまいります。

当社グループは、4月にギルデマイスター社の総発行株式数に対する株式保有比率が20.1%となり当第1四半期連結会計期間末より同社を持分法適用関連会社としております。また6月には同社と、東日本大震災で被災した国立高等専門学校生への就学支援を目的とした「DMG/MORI SEIKI奨学基金」を設立し、奨学金を支給することを独立行政法人国立高等専門学校機構と基本合意しました。国立高等専門学校の学生の皆様がこの震災を乗り越えて、将来の日本の製造業を担うために勉学に励まれることを心から期待しております。

こうした状況のもとで、当第1四半期連結累計期間における売上高は28,834百万円（前年同四半期比51.5%増）となり、営業損失は1,318百万円（前年同四半期は4,777百万円の営業損失）、経常損失は1,290百万円（前年同四半期は5,644百万円の経常損失）、四半期純損失は1,267百万円（前年同四半期は5,510百万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、179,784百万円となり、前連結会計年度末比7,834百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金が6,529百万円減少したものの、投資有価証券が8,860百万円、たな卸資産が6,387百万円増加したことがあげられます。

なお、純資産は91,413百万円となり、自己資本比率は50.0%と前連結会計年度末比4.6ポイント悪化しております。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月9日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,418	4,963
受取手形及び売掛金	32,085	25,555
有価証券	101	101
商品及び製品	12,421	17,176
仕掛品	7,130	7,777
原材料及び貯蔵品	19,285	20,271
繰延税金資産	2,061	2,127
未収消費税等	398	538
その他	5,413	6,629
貸倒引当金	△139	△160
流動資産合計	86,177	84,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,581	24,315
機械装置及び運搬具（純額）	4,101	4,147
土地	18,339	19,162
リース資産（純額）	4,026	3,870
建設仮勘定	476	679
その他（純額）	2,895	2,802
有形固定資産合計	54,421	54,978
無形固定資産		
のれん	1,575	1,440
その他	4,681	4,438
無形固定資産合計	6,256	5,878
投資その他の資産		
投資有価証券	23,082	31,942
長期前払費用	85	107
繰延税金資産	374	426
その他	1,552	1,467
投資その他の資産合計	25,094	33,944
固定資産合計	85,772	94,802
資産合計	171,949	179,784

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,451	11,334
短期借入金	45,172	56,534
1年内償還予定の新株予約権付社債	—	2,583
リース債務	278	275
未払金	3,796	4,828
未払費用	1,734	1,942
未払法人税等	373	198
前受金	1,336	1,677
未払消費税等	71	39
繰延税金負債	16	16
製品保証引当金	914	839
賞与引当金	123	98
その他	1,035	823
流動負債合計	66,303	81,191
固定負債		
新株予約権付社債	2,583	—
リース債務	3,983	3,846
繰延税金負債	1,387	1,050
再評価に係る繰延税金負債	1,699	1,699
退職給付引当金	309	323
長期未払金	288	190
資産除去債務	62	62
その他	4	6
固定負債合計	10,317	7,178
負債合計	76,621	88,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,132	41,132
資本剰余金	53,863	53,863
利益剰余金	11,910	9,530
自己株式	△10,545	△11,428
株主資本合計	96,360	93,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,463	790
繰延ヘッジ損益	476	268
土地再評価差額金	1,545	1,545
為替換算調整勘定	△5,989	△5,725
その他の包括利益累計額合計	△2,505	△3,121
新株予約権	469	476
少数株主持分	1,003	960
純資産合計	95,328	91,413
負債純資産合計	171,949	179,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	19,026	28,834
売上原価	14,387	19,459
売上総利益	4,639	9,375
販売費及び一般管理費	9,417	10,693
営業損失(△)	△4,777	△1,318
営業外収益		
受取利息	11	13
受取配当金	112	106
為替差益	—	116
その他	62	111
営業外収益合計	185	347
営業外費用		
支払利息	90	124
支払手数料	25	25
為替差損	724	—
持分法による投資損失	43	101
その他	168	67
営業外費用合計	1,052	319
経常損失(△)	△5,644	△1,290
特別利益		
固定資産売却益	3	3
その他	—	0
特別利益合計	3	3
特別損失		
固定資産売却損	6	1
固定資産除却損	15	1
投資有価証券評価損	—	46
その他の投資評価損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
事業構造改革費用	259	—
災害による損失	—	32
特別損失合計	297	81
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,938	△1,369
法人税、住民税及び事業税	10	78
法人税等調整額	△248	△143
法人税等合計	△237	△64
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,700	△1,304
少数株主損失(△)	△190	△36
四半期純損失(△)	△5,510	△1,267

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,700	△1,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,367	167
繰延ヘッジ損益	698	△207
為替換算調整勘定	△851	240
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	24
その他の包括利益合計	△1,544	225
四半期包括利益	△7,245	△1,079
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,038	△1,036
少数株主に係る四半期包括利益	△206	△42

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	中国・ アジア (百万円)	計 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	7,029	4,419	4,009	3,568	19,026
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,979	481	228	262	9,952
計	16,008	4,901	4,238	3,830	28,979
セグメント損失(△)	△3,556	△361	△708	△90	△4,716

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	△4,716
未実現利益の消去	△61
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△4,777

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	欧州 (百万円)	中国・ アジア (百万円)	計 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	10,094	7,736	6,855	4,148	28,834
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,156	508	281	297	16,243
計	25,250	8,244	7,136	4,445	45,077
セグメント利益又は損失(△)	△1,252	△158	△21	19	△1,413

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	△1,413
未実現利益の消去	94
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,318

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は、業務・資本提携先である独国GILDEMEISTER AG（以下、ギルデマイスター社）との間で、グローバル市場において販売統合を進めてまいりましたが、この度、欧州において各国法令の許可を前提として販売統合を進めることといたしました。

(1) 販売網統合の目的

ギルデマイスター社は、欧州市場において、強力なプレゼンスを有しており、販売統合を進めることで、当社製品の拡販につながるものと考えております。また、当社が製品戦略の中心とする高付加価値の工作機械市場においては、今後ますます加工技術・ソフトウェア・教育などの提供に加え、メンテナンスの充実など直接にお客様と接する販売・サービス機能が必要となり、同社の直販体制がより有効に機能するものと考えております。

(2) 統合形態について

①ドイツ連邦共和国

平成23年7月5日にドイツFCO（カルテル庁）からギルデマイスター社は、当社子会社のMori Seiki G. m. b. H.（当社100%出資）の販売・サービス機能をDMG / Mori Seiki Germany（ギルデマイスター社100%出資のDMG Stuttgart Vertriebs und Service GmbHが名称変更の予定）に統合することについての許可を得ており、平成23年9月1日を目処として統合計画を進めてまいります。

なお、引き続き当社ドイツ子会社は、サービス・パーツ、エンジニアリング、教育、管理などの機能を存続させ、主としてDMG / Mori Seiki Germanyをサポートいたします。

②その他の欧州各国

各国法令の許可を前提に、新たにギルデマイスター社と当社でスイス連邦に合弁会社（仮称 DMG / Mori Seiki Europe）を設立し、ギルデマイスター社と当社の各国販売会社を統合した販売会社を100%子会社としてその傘下に置く予定であります。新たに設立する合弁会社の出資比率及び役員構成に関しては、現在両社にて検討中であります。

(3) 今後の見通し

現時点では、ドイツにおける資産などの譲渡価額、スイスに新たに設立する合弁会社の出資比率などは確定しておらず、当期の業績に与える影響は未定であります。各国法令の許可を踏まえ、今後の統合の進捗により業績への影響が明確になり次第、速やかに情報開示を行う予定であります。